

平成 20 年 11 月

第 58 回理論応用力学講演会

講 演 者 各 位

日 本 学 術 会 議  
機械工学委員会・土木工学・建築学  
委員会合同 IUTAM 分科会  
委員長 小林 敏雄  
第 58 回理論応用力学講演会  
英文論文集編集委員会  
英文論文集担当主査 泉 典洋

第 58 回理論応用力学講演会  
英文論文集への寄稿のお誘い

第 58 回理論応用力学講演会が平成 21 年 6 月 9 日～11 日の期間、日本学術会議で開催されます。本年度も、著者の希望により発表論文をあらためて英文で投稿されると、査読による審査を経て後日発行する英文 **Proceedings** に収録されます。

英文論文集は、カメラレディ原稿によるオフセット印刷方式（上製カバー装、判型は B5 判）と電子ジャーナル方式を併用して発刊いたします。オフセット印刷方式による **Proceedings** は平成 22 年 3 月の発刊を目指し、同時に、電子ジャーナル方式による同一原稿を J-STAGE に搭載いたします。  
(<http://www.jstage.jst.go.jp/ja/>)

つきましては、本講演会でのご講演の内容を英文論文としてご寄稿いただきたくお誘い申し上げます。

## 第 58 回理論応用力学講演会 英文論文集への寄稿について「申込み要領」

1. 本論文集には、第 58 回理論応用力学講演会で行われた講演の英文論文を掲載する。掲載論文は、オリジナルな研究論文のほかに、シンポジウムにおける展望的論文をも含むものとする。論文内容が講演内容と大幅に異なるものは掲載しない。この他、次の 2 点に留意すること。
  - (1) 論文の著作権にかかわる諸問題が生じる可能性がある場合には、筆者のほうであらかじめ解決しておくこと。
  - (2) 過去に掲載されたか掲載予定の日本語論文のまる写しは認めないが、それを基にして多少修正したものは認める。
2. 第 58 回理論応用力学講演会の講演者は、原則として講演 1 題につき 1 編の英文論文を寄稿することができる。
  - (注 1) 頁数に制限があるので、本論文集の水準に達している論文でも掲載をお断りしなければならない場合や、同一筆者による何篇もの論文は掲載しかねる場合があります。この点をあらかじめお含みおき下さい。また、複数の論文を寄稿する場合は、ご希望の順位を必ず付けてお出し下さい。
  - (注 2) 第 58 回より以前の理論応用力学講演会の講演者で、その講演内容を英文論文集に未投稿の方は、該当論文 1 題につき 1 編の英文論文を寄稿することができます。
3. 寄稿者は原稿送付と同時に、寄稿料 1 編につき 10,000 円を下記振込先に納付下さい。掲載否の場合でも寄稿料は返却しませんので、ご了解下さい。

○振込先：

支払銀行支店名 みずほ銀行 四谷支店

口座番号 普通預金 1142942

口座名義 社団法人土木学会第 58 回理論応用力学講演会  
英文論文集委員会

(フリガナ) シャダンハウジンドボクガツカイダイ 57 カイリロン  
オウヨウリキガクコウエンカイ  
エイブンロンブンシュウイインカイ

4. 第 58 回理論応用力学講演会英文論文集編集委員会（以下、編集委員会と略称）は、各寄稿論文について査読審査を行って掲載の可否を決定し、編集委員会の意見を添えて原稿を寄稿者に返送する。

5. 掲載可の論文の寄稿者は、編集委員会の意見を参考にして原稿を再整理する。その後、「原稿作成要領」に基づき、所定の camera-ready 用紙に原稿を貼付あるいは直接印字して、期日までに出版社宛に送る。(期日厳守)
6. 掲載可の決定通知を受けた寄稿者は、論文集の発行後に掲載料(刷上がり6頁以内は50,000円、1頁超過するごとに10,000円)を出版社の「有限会社 創泉堂出版」に納付するものとする。
7. 掲載論文の寄稿者には、論文1編について論文集1部を贈呈する。なお、別刷(抜き刷り)を必要とする場合には、30部を単位として実費作成(1頁@70円×頁×部数)する。
8. 寄稿希望者は、土木学会ウェブサイト(<http://www.jsce.or.jp/committee/amc/nctam/nctam.html>)から、「寄稿申込書」をダウンロードし、所定の事項を記入の上、電子メール(subjectを「NCTAM58 英文論文寄稿」とすること): [masunaga@jsce.or.jp](mailto:masunaga@jsce.or.jp) に添付、もしくはメール本文に転記して、平成21年6月26日(金)までに申込むこと。なお、「寄稿申込書」の郵送による申込みも受付ける。送り先は下記の通り。(期日厳守)
9. 寄稿希望者は次頁以降の「査読用原稿執筆要領」に基づいて英文論文原稿を3通作成し、平成21年7月24日(金)までに下記宛に送付する。この期日に遅れた論文は受付けない。

10. 論文集刊行の予定は次のとおりである。

寄稿申込期日	平成21年6月26日(金)
査読用原稿到着期日	平成21年7月24日(金)
掲載可否の通知日	平成21年10月下旬
掲載用完全原稿提出日	平成21年12月18日(金)
論文集発行日(オフセット印刷)	平成22年3月
論文集発行日(電子ジャーナル)	オフセット印刷版発行後の適当な時期
論文集発行者	第58回理論応用力学講演会 英文論文集編集委員会
論文集製作・発売者	創泉堂出版

〒162-0808 東京都新宿区天神町64 創美ビル2F

電話 (03) 5225-0162 FAX (03) 5225-0172

宛先：

〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内

土木学会 NCTAM 英文論文担当宛

電話：03-3355-3559 Fax：03-5379-0125

電子メール：[masunaga@jsce.or.jp](mailto:masunaga@jsce.or.jp)

## 査読用原稿執筆要領

1. 論文はすべて英文とし、十分推敲のうえワープロ（またはタイプ）で清書する。電子ジャーナル版原稿の PDF ファイルは、刊本製作の出版社が作成し、Web 上に登載します。電子ジャーナル版への登載を希望しない筆者は、その旨申し出て下さい。
2. 原稿は白地厚手の用紙（薄いものや透明のものは用いない）A4 版を使用する。タイプまたはワープロ原稿は 1 行約 65 字、ダブルスペースで、上下に十分余白を残す。なお Tex による投稿希望の場合は A4 版への拡大コピーで差し支えない。
3. 原稿第 1 ページには表題、筆者名（フルネーム）、研究場所、英文アブストラクト（150 語以内）を記入する。（本文は第 2 ページから始める）
4. 引用文献は下記の例にならない論文の末尾にまとめて記載する。本文中では肩に 1)、2)、3)、……のような番号を用いて示す。  
脚注は、本文の下に横線を引き、その下に記載する。脚注番号はページごとに \*、\*\*、\*\*\*等を使用する。

### (例) REFERENCES

- 1) Passman, S. L., Grady, D. E., and Rundle, J. B., " The role of inertia in the fracture of rock ", *J. Appl. Phys.* 51(1980), pp. 4070-4075.  
(論文の表題を必ず記載すること)
  - 2) H. Schlichting : Boundary-Layer Theory, 7th ed. (McGraw-Hill Book Co., 1979), p. 74.
5. 図面や写真原稿は、査読に支障のない鮮明なコピーが望ましい。図 (Fig.) および表 (Table) は本文中の挿入箇所原稿右側余白に、図、表番号を Fig. 1, 2, または Table1, 2, と明記する。図の説明は全部まとめて別紙に記載して添付する。表の説明は表の上部に印字する。Tex 使用の場合はこの限りではない。
  6. 原稿には次の項目を記入した表紙を 3 通とも付ける。「査読用表紙」：土木学会ウェブサイト：<http://www.jsce.or.jp/committee/amc/nctam/nctam.html> よ

りダウンロードして使用)

- (1) 講演番号
- (2) 論文題名
- (3) ヘディング (できるだけ短縮した論文題名、約 10 語以内：奇数頁の欄外に印刷される)
- (4) 筆者名 (ローマ字および漢字)
- (5) 勤務先 (ローマ字および漢字)
- (6) 連絡先 (漢字)
  - (a) 氏名 (共著の場合は 1 名を選ぶこと)
  - (b) 宛先 (含郵便番号)
  - (c) 電話番号
  - (d) FAX 番号
  - (e) E-mail アドレス
- (7) 主な所属学会名
- (8) 原稿の本文、図、表の枚数